



水道施設の災害に伴う応援協定を締結

7月28日、町は4月から水道料金・下水道使用料徴収業務などを委託しているヴェオリア・ジェネッツ株式会社中部支店と「水道施設の災害に伴う応援協定」を締結しました。

この協定では、地震・風水害・事故などの災害により水道施設が被災した場合、町民からの問い合わせなどに対する電話・窓口受付の時間延長や、加圧式給水車の派遣による応急給水活動などの応援業務をヴェオリア・ジェネッツ株式会社に実施いただき、協力して災害対応を行うことが約束されました。



下羽栗小学校3年生がタブレットを活用して授業を行いました

下羽栗小学校3年1組の児童27人が、国語の授業でタブレットを活用しました。

授業では、児童が授業支援ソフト「SKYMENU Cloud」を使って物語の主人公の気持ちをタブレット上で表現し、教師が手元のタブレットで瞬時に児童の考えを確認しながら、主人公の気持ちの変化した理由などを児童に質問していました。

今年度は、各学校で昨年度整備した児童生徒一人1台のタブレットやソフトウェアを使い、ICTを活用した授業が行われています。



東海中学校総合体育大会に出場

笠松中学校の男子バドミントンダブルス、水泳、男子ハンドボール、女子ハンドボールの選手の皆さんが、中学校総合体育大会地区・県大会を勝ち進み、東海大会へ出場し、それぞれの種目で健闘されました。

【東海大会出場選手(敬称略)】

- ・男子バドミントン部(ダブルス)
尾藤 陽太(3年生) 深田 空良(3年生)
- ・水泳 100m平泳ぎ 林 あいり(2年生)
200m個人メドレー 高山 結誠(2年生)
- ・男子ハンドボール部
- ・女子ハンドボール部



町スポーツ協会から要望書提出

8月12日、町スポーツ協会から「体育施設に関する要望」が町長に提出されました。

町民の皆さんが体育施設を安全に、安心して利用出来る環境にしたいという思いから、協会に所属する各種目の団体の方の意見を聞き要望されたものです。

町としては、できる限りこの要望にお応え出来るよう、今後体育施設の整備を進めてまいります。